

主な活動内容

【銭太鼓】

場所・・・音楽室
ボランティア 10名
【楽しい大正琴教室】
場所・・・美術室
ボランティア 数名



銭太鼓



大正琴

【フラダンス】

場所・・・3年3組
ボランティア 5名



フラダンス



そばうち体験

【そばうち体験】

場所・・・調理室
ボランティア 5名

【太極拳（男子）】

場所・・・大平保育所
ボランティア 4名



太極拳（男子）



太極拳（女子）

【太極拳（女子）】

場所・・・視聴覚室
ボランティア 3名

【クラフトづくり】

場所・・・技術室
ボランティア 1名



クラフトづくり



ニュースポーツ

【ニュースポーツ】

場所・・・体育館
ボランティア 2名

支援のポイントとその成果

(1) 学校が求める応援活動にマッチした地域ボランティアの発掘と派遣のシステムを作る。

今まで学校が必要に応じてボランティアを要請する場合は、学校がもつ情報の中で選定し依頼していたが、今回PTAを中心とする学校応援のための実行委員会を立ち上げ、学校応援推進委員を配置することで、ボランティアに関する情報量が増え、学校が求める応援活動によりマッチするボランティアの発掘や派遣が可能となった。また、そのことにより、教員の生徒と向き合う時間を拡充することができた。

(2) 生徒と地域の大人が触れ合う機会を増やし、“地域全体で子どもを育てる”機運を醸成する。

地域のボランティア団体と連携して地域の人材を発掘した。その中で、10におよぶボランティア講座が開催できた。総勢60名を超えるボランティアの方々には「自分が体験し、得た知識が役立つことがわかりとてもうれしかった。」「学校にお任せでなく、地域全体で子どもたちを育てていくことがみんなにとって大切なことだということに改めて学んだ。」「これまで、学校のために何かしてあげたいという思いはあってもなかなかできなかった。やはり、学校の敷居が高かった。しかし、来ていいところなんですよね。」と学校を応援し“地域全体で子どもを育てる”機運が高まった。

(3) 生徒の興味・関心を高め、活動に積極的に参加させる工夫。

生徒が興味を持ってそうな講座を開設し、生徒自身が試してみたい講座を選ばせたことにより、生徒は意欲的に取り組んだ。また、地域の方々に対する尊敬や感謝の気持ちを育て、ボランティア活動に対する興味・関心を高める場となった。

